

穂 学

平成30年度

広州日本人学校学校便り

[No. 9]

平成30年 12月11日(火)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

体験的な学習で充実した学びを

校長 丸本 亙

早いもので今年も師走を迎えました。子どもたちは寒さに負けずに学校生活を元気に送っています。

11月7日には、小学部1年生と2年生が動物園に出かけました。2年生が動物園の中をどの様に回ったら良いかを考え計画し、1年生を上手にリードしながら園内を回っていました。先生が1列に並べて同じコースをみんなで回るのではなく、主体的に活動している様子を垣間見ることができました。パンダや象やキリンなど、子どもたちも興奮しながら楽しそうに見学していました。



11月8日には、運動会にも参加してくれた台湾人学校の6年生が、本校のクラブ活動に参加するために来校してくれました。5・6校時にクラブ活動に参加し、笑顔いっぱい元気よく交流している声が教室や体育館や校庭から聞こえてきました。来年以降は、本校から訪問することも考えていきたいと思っています。



11月9日には、毎年恒例になっている日本航空様のご協力により小学部5・6年生を対象に、航空教室と環境教室が行われました。環境教室では、人間が新しいことを開発することにより自然が破壊され、たくさんの野生生物が絶滅の危機にあることを教わったり、飛行機から撮影した北極の氷や氷河の写真を見せていただいたりして、地球温暖化による地球の変化を実際に確認することができました。地球環境を守っていくために、私たちができることを改めて考える良いきっかけとなりました。



11月15日には、小学部1年生と2年生を対象に、ヤマト運輸様のご協力により交通安全教室を開催していただきました。日本では車は左側通行ですが、この中国では右側通行であること。そして、横断歩道を渡る際には、信号が青になってから「左、右、左」を確認し手を上げて渡ることを教えていただきました。また、車の陰から走ってくる電動自転車の危険性についても、車の模型や電動自転車を使って分かり易く説明してもらい、しっかり理解できたようでした。三人ずつトラックの運転席に乗り込み、「死角体験」も行いました。子ども達は車を運転する人は、いつでも歩行者が見えているものだと思っていたようですが、実際に運転席に座ってみると、車の前でしゃがんでいる人や車の真横にいる人は見えないことが分かりました。実際に体験することで、車の怖さや安全な道路の渡り方について理解することができた貴重な体験となりました。



同じ15日からは1泊で、小学部5年生が中山宿泊体験学習に出かけました。今年は「絆を深める。集団としての行動をする。中国の文化を肌で触れ感じる。」の3つの目標を立てて活動してきました。孫文の生まれ故郷である中山市。実際に生活していた家を見学し、中国の歴史に触れることができました。その後は、麒麟ビール工場を訪問し、中国の美味しい水を使って日本と変わらないビールを製造している様子を見学させていただきました。果樹園やクッキー作りを体験する中で、教室ではなかなか触れ合うことができない友だちとも関わり、学年の絆を深める事ができました。1泊2日という短い体験でしたが、記録をしっかり取るなど、前向きに学習に取り組む姿や友だちとの会話の中で集団としてどの様に行動したら良いのかを考えている様子が、多くの場面で見られた2日間となりました。



12月に入り4日には、5年生がトヨタ自動車工場の見学に出かけました。日本の5年生はなかなか学校数が多くて自動車工場の見学ができないのですが、広州には自動車工場があり快く見学させていただきました。車の組み立ての様子や出来上がった車の点検の様子を見学させていただき、説明の中で58秒に1台車が出来上がっている事や世界のトヨタの工場に1日に35,000台生産されている事を聞き、大変驚いていました。



5日には中学部の3年生が、隣りにあるオイスカ幼稚園に保育実習に出かけました。小さな子どもたちに多少戸惑いながらも、丁寧に笑顔で対応していたのが印象的でした。いろいろなゲームや紙芝居なども用意して、楽しい時間を過ごしました。園児と楽しく昼食も取る事ができました。



7日には、6年生が社会科見学で博物館、オペラハウス、図書館、広州タワーに出かけました。どの見学場所も子どもたちの興味を満足させる場所で、広州に住んでいる子どもたちの社会科見学の場所として最適だったように思いました。なかなか個人では見学する事のできないオペラハウスの内部も見せていただき、素晴らしい施設に感動していました。図書館では日本の書物も多くあり、少しの時間でしたが読書に勤しむ事ができました。どんよりとした曇りだったので、広州タワーから広州市内を一望する事はできませんでしたが、400メートルの高さからの風景はやはり格別でした。大変満足して帰ってきました。



多くの体験的な学習の中で、企業の方々にお力添えを頂き、子どもたちの安全や生活力向上のためのサポートをしていただいています。日本の学校以上に多くの体験ができる日本人学校で学ぶ子どもたちは、素晴らしい環境の中で充実した学びができていると感じました。

12月22日からは、2週間の冬休みに入ります。体調を崩すことなく、1月7日からの3学期を迎えることができるよう、ご家庭でもお過ごしいただければと思います。

今年1年、ご理解ご協力を頂きありがとうございました。